

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	老年臨床看護Ⅱ	時間数	30時間
講師名	専任教員	履修学年	2年次
概要	1.高齢者やその家族が満足のいくエンドオブライフを迎えるために必要なトータルケアの意義について考えることができる。 2.高齢者に特有の疾患と治療・処置時などに対応した看護技術の提供について学ぶことができる。		
学習目標	1.老年期のライフステージとその発達課題を踏まえ、疾病や障害をもつ高齢者の経過別看護が理解できる。 2.事例演習を行い、基礎的な看護過程の展開方法が理解できる。		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	1~2回目の授業方法説明、シニアポーズ装着方法説明（DVD視聴） 1~3G：シニアポーズ装着体験実施（順番待ち中は3~4回目の経過別看護のGWをする） 4~7G：3~4回目の経過別看護のGW	演習	
2	4~7G：シニアポーズ装着体験実施（順番待ち中は3~4回目の経過別看護のGWをする） 1~3G：3~4回目の経過別看護のGW	演習	
3	老年期の特徴を踏まえた経過別看護（GW）	演習	
4	老年期の特徴を踏まえた経過別看護（発表）	演習	
5	事例トレーニング前の看護過程復習、糖尿病と事例の理解	講義	
6	糖尿病の患者の事例展開（情報整理、アセスメント、病態像、関連図の書き方）	講義・演習	
7	糖尿病の患者の事例展開（全体像から患者のゴール＝長期目標の設定、問題仮説とその検証、看護診断までの書き方）	講義・演習	
8	糖尿病の患者の事例展開（看護問題の優先順位決定、短期目標、具体策、評価予定日の書き方、問題リスト作成）…初期プランまで	講義・演習	
9	高齢者特有の疾患と看護（感覚器疾患と看護）	講義	
10	肺炎の患者の事例展開（事例の理解、情報整理～問題リスト作成までの説明）…初期プランまで	講義	
11	肺炎の患者の事例展開（日々の評価の考え方、記録の仕方）	講義・演習	
12	肺炎の患者の事例展開（評価日の評価の考え方、記録の仕方）	講義・演習	
13	肺炎の患者の事例展開（まとめの評価（要約）の考え方、記録の仕方）	講義・演習	
14	周手術期の患者の事例展開（共同問題の考え）、考察の書き方	講義	
15	まとめ、試験	講義・試験	
使用教科書・教材・参考書			
新体系看護学全書 老年看護学① 老年看護学概論／老年保健 メヂカルフレンド社 新体系看護学全書 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学技術Ⅰ 基礎看護学② 医学書院 NANDA-Ⅰ 看護診断 定義と分類 医学書院			
成績評価の方法			
筆記試験 30%、提出物の内容・提出状況 50%、シニアポーズ体験レポート 20%			
備考			
15回全て各クラスでの授業 授業内容 シニアポーズ装着は5人ひと組で7グループ編成 装着後5人はそれぞれ違う体験をしてメンバーで共有化を図る ①ベッドに臥床 ②車椅子へ座る ③洗面所で手を洗う（在宅室の流し台使用） ④トイレの便座に座る（手すり使用） ⑤1人介助者が付き入浴する 1事例目は初期プランまでの立案、2事例目は評価まで全部展開する			